

平成 30 年度 第 2 回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	平成 30 年 8 月 10 日（金） 13：25～15：10 政策審議室		
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・「えびな元気にぎわい振興計画」の中間報告について ・平成 30 年度 にぎわい振興事業について ・平成 31 年度 にぎわい振興事業について 		
出席委員	羽田会長、三田委員、佐藤委員、尾崎委員、塩脇委員、長委員、伊藤委員、三部委員、半澤委員 計 9 名		
公開の可否	公開	傍聴者数	0 名
事務局・説明者等	海老名市副市長 畑 経済環境部長 清田 商工課課長 安宅 にぎわい振興係 係長 佐藤、主事補 花上		

案 件

1 「えびな元気にぎわい振興計画」の中間報告について

(1) 再検討が必要と思われる事業（未着手）

- ①収集物件の検証、名所選定と P R
- ②回遊を促す多様な交通手段の整備
- ③（市民向け）市ガイドパンフレットの作成
- ④「おもてなしマイスター制度」づくり
- ⑤各種体験プログラム開発

委 員：P D C A の D に至っていないところをどう捉えるか。

パンフレットやおもてなしマイスター制度などは実際できそうか見直した上で、改めてこんなような事業として再び考え直すという方向性もある。

委員の皆様にもご意見頂戴いただきたい。

委 員：収集物件の検討で文化財の収集物件とは具体的にどんなものか。

事務局：文化財担当では幅広く P R しているとのことですので、それについての選定と
 いうのが必要であるかと考えている。

委 員：以前ある方から情報をいただいて、文化財担当から直接お話を聞いたことがある。担当課も物件等を運び入れるにしても保管するにしてもかなり予算がかかるということで、簡単にはことが進まない話だと言っていた。

審議会でいろんな提案や検討はできるだろうが、予算は担当課の話になってしまうのでシビアに詰めないで文化財的なものを審議会で検討するには担当課の人に直接説明して頂けない限りは事が進まないのでは。

事務局：幅広い方へのPRというか、文化財と言っても史跡相模国分寺跡や温故館については幅広い方々へ周知しているが、発掘されたものをどうこうするには難しいのではないかと思います。

委員：海老名もしくは県内にあるオンリーワン性、ナンバーワン性の捉え方。文化財として今あるものの中で上記の選定要件をどうするのかという検討は必要。それは担当課や専門家を交えてきちんと検証をしなければならない。要件を審議会の中では決めることは難しいと思うので、担当課や専門家を交えて必要であればその他の専門家を交えて検証し行っていくということではよろしいのではないかと。

委員：どのくらいのニーズがあるのかわかりませんが、回遊を促すレンタサイクルは大型店の方で東西繋げてという形のマネジメントができています。貸出は可能だと思うので、ニーズがあれば協力できるのかなと思う。商工会議所の海老名プライドもうまく連携できればと思う。

委員：回遊の話でレンタサイクルは横浜の方でもやっている。先日富山に行ったとき街中にあった。街中の拠点としてある程度どこへ行ったら何があるのかという魅力づくりも含めてマスタープランを作らないとただ自転車を置いてもどこ行くのって話になってしまう。近くの街中でお買い物に使うというよりは少し離れたところに行きたいと思ったときに、そういう魅力づくりのプランも平行してあるべきなのかなと思う。

委員：海老名は坂道も多いので、電動自転車でないといけない。

委員：富山は電動でしたね。

委員：海老名は電動自転車が売れる地域なので、普通の自転車だとお年寄りは大変。

委員：パンフレットは結構各課で作っていますよね。それなりに効果はあると思うが多すぎる気がする。今後調整はすると思うが、ある程度絞ったかたちでできるのか。中には税金の無駄遣いという方もいらっしゃるのでは、検討含めて進めてもらいたいと思う。

委員：市民便利帳は市民が使うための便利帳であり、役所の担当課の業務内容や自分が行きたいところがあるのかを知るためのもの。タウンガイドと一緒に考えてしまうのは少し違うのではないかと。

委員：レンタサイクルについては、回遊のモデル像を作る。導入するにしても民間との連携をどうしてかさらに検討していく。

市民向けのガイドパンフレットについては、市の税金の効果的な使い方を第一に考えて、すぐにでも作成するのではなく、まずは既存のものを事務局の方で関係各課との調整を提案したい。

マイスター制度については会議所で「EBINA PRIDE」の動画を作られたということで、連携の中で動画を活用していく。

委員：動画についてご活用いただく点においては、大いに結構です。

委員：大学で観光まちづくり論という科目を持っていて、にぎわいのあるまちづくりとして学生にもまちづくり手法として紹介できると思うので、授業にも活用していきたい。海老名プライドを今後どう広く伝えていくか商工会議所と調整していく必要がある。

委員：マイスター制度の研修はどのような内容のものにするのか。

委員：商工会議所では動画の中身をしっかりと理解をして、それを広くPRし、海老名を好きになってもらう人材を育成していく。また、海老名にプライドを持って頂けるようなPRをするために先頭に立つ人を育成するために会議所では勉強会を実施する予定。

委員：各種体験プログラムについての意見は特にないが、これは実証実験ツアーで着手している内容だと思っていてそのような理解でいかがでしょうか。

→委員了承

(2) 平成31年度実施予定事業（平成30年度より検討）

- ①「えびなイチバン」（仮）探索ツアーの企画・実績
- ②現代的・先端的建造物を活用した見学探訪ツアーの企画・実施
- ③物語性に着目した回遊コースの設定とツアーの企画・実施
- ④写真撮影・眺望スポット空間における受け入れ環境の設備
- ⑤「海老名の名所・誇り」等に関わる写真コンテスト・動画コンテストの開催
- ⑥「にぎわいコンシェルジュ（案内人）」の育成と活用
- ⑦「公共サインガイドライン」に基づき、観光案内誘導サイン設置時の掲載情報の検討
- ⑧海老名ゆかりの人々の会員組織化に向けた制度設計と実施
- ⑨海老名の人々・先人にちなむ商品等発掘

委員：海老名いろはがるたは名産品であるが、いろはがるたを探してもなかなか見つからない。どうしたら手に入るのか。

委員：国分寺跡地でジャンボかるた取りをやっていた。

委員：マイスターということになると、市民であれば海老名の魅力を色々勝手に覚えればいいが、伝えていくとなると海老名の魅力のある程度押さえておくポイントを郷土認識しておかないといけない。その中でかるたはこんなこと載っている、何はこんなこと載っている、ではなく、各種関係者が海老名の魅力の基礎となる部分を郷土認識しておかないといけないと思ったので、かるたの中身でどんなものが載っているのか知りたいと思った。

事務局：文化財担当で昔ジャンボかるたの大会があった。そのとき販売もしていた。今は在庫があるかわからない。確認しておきます。

委員：あるかたまに聞かれるときがあるので、お願いしたい。

委員：写真コンテストは、農業と環境とプロモーションでやっていると思うが、好きです海老名に絞ってやるということですか？

事務局：シティプロモーション課で「好きです海老名」の写真募集をしているところで、新たに募集するのではなく、その中の写真を活用するののひとつの手かなというところでもある。にぎわいキャッチコピーが決定したので、それを取り入れた動画を募集することを事業のひとつとしてできたらと思う。

委員：確かに他の課で動画の募集はしていないですね。

事務局：近隣だと愛川町がまちをPRする動画の公募を行っている。コンテストの優勝作品は都内の大型ビジョンで流していたりするので、そういう手法を学びながら検討していきたいと思っている。

委員：②の事業は海老名だと具体的にどういったものになるのか。

事務局：海老名SAが有名な建築家が設計したとお話伺っていると、リコーの建物も該当すると考えているのですが。

委員：海老名にそんなにあったかなと思ったので

委員：実際、この2つの建物の中を全部見学したことある方います？

一般向けにはリコーさんはたまに公開しているけど、ほとんど知らない。

行ってみるとすごいと思う。その他はどこかないのか。

事務局：こちらから提案できる建物はこの2つなので、皆様の知識とか出し合うのもひとつかなと思う。

委員：龍法寺の建築家も宮大工、千手観音の入っている建物。

瑞龍殿は新しく造り変えたばかりと聞いた。

事務局：それは先端的とかに入るのか

委員：いわゆるまち歩きツアーに取り入れて考えていくのであれば、あまり先端的などに囚われなくてもいいのでは。都内は密度が濃いので歩いているだけで発見がいろいろあって楽しい。そういうのを拾い出して海老名にあったかなっていうのは正直ない。

事務局：そういった建造物を海老名でも探せるような取り組みができれば、ツアーの中に取り組むことができるのではと考えている。

委員：建築的に「これはすごいね」って思えるところをまち歩きの一環として、きちんとした説明を聞きながら訪ねていくことで海老名の奥深い魅力がさらにわかる。趣旨を生かした形で展開されていけばよいのではと思う。

(3) 前回、未着手としていた事業の着手について

①往時を想起できる復元図やイメージ等の制作

②人の集まる拠点における、市内「にぎわいスポット」情報の集約と提供体制の整備強化

◆「にぎわいスポット」の考え方について

委員：ななめぐりとは？7の意味について知りたい。

事務局：七重の塔にちなんだ7である。

委員：サービスエリアでイベントするということで、前に市のPRできる看板等を置いてほしいとの意見もあってそれは難しいとのこと。大谷地区が近いから農産物を売ったらとの話もあったがそれも難しいと。

事務局：農作物も売らせてもらっていたりする。

委員：伊勢原市は結構売っている。地元なのに少ない。

事務局：色々条件もあるので難しいが、一応取り組んではいただいている。

委員：うまくPRしてほしいと思う。

・にぎわいスポットの定義

事務局：3つくらいキーワードがあった方が良い。

委員：離合集散、つまり皆が集まりまた散っていく場所。参考にどうぞ。

2 平成30年度 にぎわい振興事業について

◆実証実験ツアーの検証と今後について

◆市内魅力発信イベント in 海老名SAについて

◆海老名駅西口イベントについて

委員：都心がキーワードで、定員は50名？

事務局：そうですね。バス1台分になるので、40～50名が限度になります。

5月に実施したバスツアーでは市内発着にしたので、市外の人がほとんど集まらなかった。前回の反省と委員の皆様の意見を踏まえて、都内発着にした際にどれだけ人を呼べるか検証したい。

委員：近隣の市でやっているところはあるのか

委員：先日、座間と・綾瀬が共同ツアーをやっていました。

事務局：湯河原・小田原方面を発着にして巡るコースを実施していた。

新聞記事には227名の応募があったと書かれていた。

海老名市はインターチェンジがあるので、都心からのアクセスがいいところがキーポイントになるというお話もいただいている。

委員：大型バスだとはいれないところもあるのでは

事務局：目的地の近くまで行って、参加者を降ろしたあとバスは回遊して待っている。

都心でもよくあることらしい。

委員：結果を残せるよう頑張ってください。

3 平成31年度 にぎわい振興事業について

◆にぎわい案内看板の修正について

◆名店・名産品認定店舗スタンプラリー

委員：まだ時間があるので詰めていく中で色々出てくると思うのでいいと思います。
委員：スタンプラリーの用紙を対象店舗だけでなく幅を広げてできるのかなと思う。

以上